



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く10時～16時
Web URL：<http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

新年度事業が始まりました！

会員登録・賛助会員募集中！



写真左から 4/22 種籾蒔き
4/15 谷戸塾 4/11 野草の種蒔き



春の訪れが遅いと嘆いていたら、あっという間に深緑に移りつつあります。カエルの声が谷戸に響き渡り、ツバメがせっせと飛び回り、人もめまぐるしく動き出す季節です。去年の幼な子はぐんと背が伸び、農作業の手伝いも安心して任せられる児童に成長しています。大人はしわの数だけ技術に磨きがかかってきたでしょうか。

今年度も新たな会員さんが増え、団体でかかわる姿も多く見られるようになってきました。いつでも誰でも参加できる会なので、気軽に体験してみてください。

もくじ ☆講座案内・谷戸往来
→2p ☆各班からのお知らせ→3p ☆谷戸の自然だより→4p ☆谷戸の体験学習→5p ☆5～7月の日程表(裏表紙)

今年度も活動支援に助成金をいただきました。 ★もり・みず市民事業支援補助金

今年もやります！

「里山保全ボランティア講座」

当会の「谷戸塾」の中の座学「谷戸講座」を、鎌倉中央公園内だけに限らず、もっと多くの県民に公開しようと企画した講座も、3年目となりました。多くの参加をお待ちしています。

会場：①⑥ かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室（講義）（横浜駅西口5分） ②～⑤ 鎌倉中央公園（講義と実習）

期間：5月12日～11月4日 10時～12時 **受講料：**3000円 **定員：**20名

講座内容：① 5/12（土）「谷戸の特徴」 ② 6/9（土）「谷戸の田・田植え体験」 ③ 7/1（日）「谷戸の畑・畑作業」 ④ 9/9（日）「谷戸の生態系・観察会」 ⑤ 10/7（日）「谷戸の田・稲刈り体験」 ⑥ 11/4（土）「市民活動としての里山保全」



認知症サポーターのいる会として認定されました

3月25日、認知症サポーター養成講座を園内研修室で実施。当会会員10名が受講してサポーターに認定され、当会にも認定ステッカーをいただきました。



HP一新しました！



谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

韓国から生態系に関する視察団が来訪しました

3月6日、日韓両生類シンポジウムの帰り、日本自然保護協会の案内で6人が見学に来られました。座談会形式で当会の説明をした後、フィールドを一緒に歩きました。生きものの話はもちろんですが、農芸班の活動に興味をもたれたので、自家製味噌と梅干しの試食をしてもらいました。短い時間でしたが、こちらも韓国の保全活動の現状を知るよい機会になりました。



かまくら認知症ネットワークの「かまくら散歩」

3月25日、秋に引き続き、認知症のご本人と家族、ボランティア総勢55名が、春の谷戸を楽しみました。おやつには、谷戸で獲れたお米で作ったお団子を振舞いました。



オカリナ伴奏で歌も楽しんで

JR東日本労組が来訪

4月10日、4名の方が、さつまいも苗を植える準備に携わりました。田畑が残された経緯を説明すると「この谷戸の景色が残ってよかった」としみじみ話されました。

各班からのお知らせ



田んぼ班

★5/3(木・祝)、4(金・祝) 田うない ★13(日) 畔草刈り
★20(日)、26(土)、27(日) くろつけ

田んぼに活気が戻ってきました。6月の田植えに向けて苗を育てるため、昨年収穫し保存してあった粳米を塩水に入れて、重くてよい種籾を選び、苗床に蒔きました。今年も、もち米は「マンゲツモチ」、うるち米は「さとじまん」です。田植えができるように田んぼも整えなければなりません。畔直し、田うない、しろかき、くろつけ、泥んこになっての力仕事が続きます。皆さんも一緒に楽しい汗を流しませんか？



今年は苗床を全て小段谷戸に



畑班

★5/6(日) ジャがいもの芽欠き・土寄せ ★13(日) 草取り・草刈り・耕し
★20(日) さつまいもの苗植え ★27(日) そら豆の収穫・落花生の種蒔き



待ちに待った今年の春は4月初旬の嵐と共にやってきて、一気に季節が巡りました。15日には、年2回の谷戸まつりで市民のみなさんにごちそうするさといもをたっぷり植付けました(写真左)。苗床のさつまいもも順調に育っています。5月に入ると畑の草たちも勢いを増すので草取りや手入れをしながら、さつまいもの苗の育ち具合を観て植付けをしていきます。新緑の美しいこの季節、ご参加をお待ちしています。



雑木林管理班 ★5/13(日) 畑周辺の草刈り

木々の新緑が目まぶしい季節になりました。雑木林管理班のこれからの作業は、草刈りが主体となります。冬の雑木林管理シーズンには、昨年の台風や大風で根返りした木や枝、倒れる恐れのある木の処理を行いました。処理した木は、薪にして保管してありますが、薪置場は、ほぼ満杯です。有効な使い道を検討中です。



農芸班

★6/8(金) 梅干し作り

白くかわいい梅の花が今年も谷戸の春先を飾りました。たわわに実った梅の実を収穫して梅仕事がいよいよ始まります。谷戸まつりでは昔ながらの味、人気の梅干しをぜひご賞味ください。



自然遊び班

★5/20(日)
子ども里山一日体験
「さつまいもの苗植え」

畑班が育てたさつまいもの苗を、自然遊び班の畑に植え付けします。収穫を楽しみに、育てていきませんか？

★6/17(日) 子ども里山一日体験
「初夏の谷戸歩きと昔遊び」

遊びの名人のおじさんがやってきます。谷戸を散策しながら、昔の遊びや草や虫の話と一緒に聞きましょう。

お子様向きの竹細工も計画しています。



谷戸の自然だより

～カワトンボ～

4月下旬、初夏の日射しにまぶしさを感じたら農繁期の始まりです。チョウやトンボなども姿を現しますが、その多くは初夏だけで命を終える春の虫たちです。山崎の谷戸は鎌倉市内では残り少ない里山の自然が残る地域で、今では貴重になった春の昆虫がたくさんいます。カワトンボはその代表で、ホタルが棲むような谷戸の源流に生息しています。連休の頃、谷戸の水路で大きな糸トンボを見かけたらカワトンボです。メタリックグリーンの体をきらきらさせながら、ふわりふわりと道案内するように飛ぶ姿はまるで妖精のよう！シュレーゲルアオガエルとカワトンボがいる限り、谷戸の水辺は大丈夫と思ってよいでしょう。前者は昔ながらの田んぼ、後者は水路の環境の指標になるからです。カワトンボは翅（はね）の茶色いものと透明なもの、胴体の色も緑色だったり白だったりときまざります。これらは年齢（トンボになってからの日数）や、♂♀、そしてタイプの違いなのです。詳しくは図鑑をご覧ください。おもしろいのは、同じ♂でも翅が茶色か透明かで生き方が違うことです。茶色い翅の♂は一定の縄張りを守りながら、近寄ってきた♀と手堅く交尾します。一方透明な翅の♂は特に縄張りをもたないので、隙を見つけてなんとか♀と交尾しようとしているかに見えます。透明な翅の♂が気楽に暮らしているからではなく、茶色い翅の♂と戦うと負けるので縄張りを持たないという悲しい事情があるのです。体の大きさを計測してみると茶色い翅の♂の方が明らかに大きいのです。その体格差を人間に換算すると、日本人と欧米人の違いに相当します。条件の悪い生息地、つまり狭い場所や水量が少ない場所では、透明型の♂が圧倒的に多くなり、茶色い翅の♂はほとんどいなくなるのです。悪条件下では競争に弱いものがむしろ有利になるということなのでしょう。

山崎の谷戸は、両方のタイプが同じくらい生息しています。長年観察を続けた結果、水路が浅くなるとカワトンボの幼虫が少なくなることや、水路が落ち葉などで渋のようにせき止められている場所に幼虫が多いことがわかりました。そこで、生態系班では、水路が草で埋もれそうな場合は手入れをしています。また水路で落ち葉がたまっている場所は、なるべくそっと見守るようにしています。

生態系保全班 ★5/7(月)水路の手入れと観察 ★14(月)春のチョウ

昨年の成果を確認する観察と作業をします。

植物育成班 ★ 5/21(月)植物調査

4月に蒔いた種の発芽状況や、土手に植えた野草の苗の生育状況を確認しながら、作業します。

ホタルの紙芝居を読んでもらう ボランティアの方募集！

鎌倉中央公園は、みなさんの日頃の里山保全活動のおかげで、田や湿地が守られ、ホタルが生息しています。毎年6～7月中旬まで、ホタルを観賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、自主保育グループ、町内会、小学校のご協力によって、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、ホタルの紙芝居ボランティアに参加してみませんか。山崎の谷戸のホタルたちのために、ご協力よろしくお願ひします。



日程：6/2、16、7/7、21
時間：18:30～20:30(閉園時間帯につき駐車場は利用できません)
集合場所：山崎ロしいし前のベンチ
服装：長袖・長ズボン

お申し込み&お問い合わせは
事務局まで
電話 or Fax or メールにて